

〈平成 27 年度 総会〉

開 催 挨 拶

環境システム計測制御学会 会長 清水 芳 久
京都大学大学院工学研究科 教授



平成 27 年度の総会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

会長を務めて本年で三年目を迎えました。

始めは事務局長から、後に副会長そして会長と務めさせていただいておりますが、事務局長の役を拝命した当初は学会運営が苦しかった時期でもあり、予算ばかりを気にしておりました。しかし、ここ数年は会員の皆様のご支援や事務局の努力によって、僅かではありますが、次年度繰越金が年々増えてくるまでになってまいりました。ありがとうございます。

さて本年、EICA 役員については、後ほど皆様のご承認をいただければ、役員継続（再任）の年となります。私自身も任期のあと一年を務めさせていただくつもりにしております。

先日、EICA 総務委員会からアンケート調査を実施していただきました。一部の会員の皆様に、これからの EICA の活動の方向や、現在の EICA の課題についてお聞きいただきました。それと同時に事務局には EICA の会員構成、例えば年齢構成、所属先の構成などを調べて頂きました。

その結果、これは EICA だけの問題ではなく、総じて国内の学会に言えることだと思っておりますが、あらためて会員構成の高齢化が明らかとなりました。また、EICA の現在抱える課題については、EICA のカラーがぼんやりしてきているので、今一度、学会の守備範囲を明確にして、それを基に魅力ある企画等をやってほしい、というご意見もいただきました。

たった今、会員の高齢化というお話をさせていただ

きましたが、本日までご来場いただいている会員の皆様のお顔を拝見していると、ご自身を決して高齢化の範ちゅうに入れられることなく、もうしばらくの間、皆様のお力をお貸しいたしますようお願い致します。これと同時に若い世代の入会、若い世代の会員の確保に私自身も尽力していきたいと思っております。

顔と顔、人と人、のように息使いや体温を感じながら議論することが大切だと思います。

EICA では、その「息使い」「体温」を感じていただけるような特色ある、そして魅力のある企画をご提供できるよう幹事会、各委員会とともに考えてまいります。これからも、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



挨拶をする清水会長